

2012（平成 24）年度自己点検・評価報告書の公表にあたって

全学自己点検・評価委員会委員長
学 長 山本 英夫

『2012（平成 24）年度自己点検・評価報告書』を公表するにあたり、2012（平成 24）年度の自己点検・評価活動の概要および 2013（平成 25）年度の計画について一言ご紹介申し上げます。

本学は 2014（平成 26）年度に、2 回目となる認証評価を大学基準協会（以下、協会）に申請する予定となっております。前回の認証評価以降は、協会から指摘された事項を中心に毎年点検・評価活動を実施して参りました。2011（平成 23）年度には、これまでの改善状況を取りまとめた「改善報告書」を作成し、協会からは「すべての提言を真摯に受け止め、意欲的に改善に取り組んでいる」との評価を得ることができました。

2012（平成 24）年度は、前年から継続している「I R ワーキンググループ※の設置および学内諸データの把握と認証評価用データの割り出し」について検討を行い、答申を作成することができました。また、2 年後の認証評価を見据えた活動にも取り組みました。

具体的には、協会が示す 10 の基準および基準ごとの「点検・評価項目」を参考に、本委員会で 2012（平成 24）年度重点項目を検討、抽出して、点検・評価活動を試みました。データおよび根拠資料の整備などに課題は残るものの、学部・研究科等の現状を明らかにして、『2012（平成 24）年度自己点検・評価報告書』としてまとめることができました。

このように認証評価を意識した点検・評価活動を行うことにより、大学全体および学部・研究等においても内部質保証システム構築への機運が高まったといえます。

2013（平成 25）年度は、本格化する認証評価への準備、取り組みを契機に、さらなる内部質保証システムの強化を目指していく所存です。

最後になりますが、日頃からの本学へのご支援に感謝申し上げますとともに、本学の自己点検・評価活動が改善・改革につながるよう、本報告書に対し、皆様からの貴重なご意見・ご指摘を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

※ I R（Institutional Research の略）

2013 年 3 月